

満天新聞

H・Mさん (女性)



ケアマナージャーさんの紹介で満天を勧められました。体験してみても**雰囲気**も良く、趣味である手芸も出来たり、大正琴教室もあり、やった事は無かったです。新たに**チャレンジ**してみたくなり参加を決めました。趣味の幅が広がりました。今では、ぬか床担当として漬物作りや、色々な手料理を他の利用者さんやスタッフのために作っています。他の利用者さんに手芸の**指導**をしたり、お茶、コーヒー出しをしたり、役割がある事で充実して過ごしています。自分の**好きな事**が出来ることが何より楽しいです。満天に参加した日は程よく疲れて良く眠れます。満天がきっかけで**自信**が付き、地域の**百歳体操教室**にも参加するようになった。興味がある方は是非満天に見学に来て下さい。楽しいですよ。



リハビリデイサロン満天が**開設当初**から通っています。当初は週に二回でしたが、家にあるよりも満天のみんなと過ごす事が楽しくて、今では週に六回通っています。職員さん、利用者さんが**親切**にしてくれて、満天で九十歳にして始めて覚えた「iPad」で花札のアプリをしたり、大人の塗り絵をしたり、迷路脳トレや麻雀、花札等をしたりと**楽しく**て時間があつと言間に過ぎていきます。決められたことがなく、自分の好きな事を選ぶのが嬉しいです。いつも、大人の塗り絵や迷路脳トレの**宿題**をもらって帰り、自宅でもやっています。たまに塗り絵を、他の利用者さんが欲しいと言われ、差し上げるとても**喜ばれる**事が嬉しいです。満天に来て、ぜひ楽しみを見つけて下さい。

N・Aさん (男性)

2018年 特別号

発行人 長谷川和邦



編集者よりひとこと

管理者の長谷川です。ご利用者様の**生の声**をお届けしたくて、今回満天新聞の特別号という形で作成しました。「**ご利用者様のみなさまにキラキラと輝いていただきたい**」自立を支援することをモットーに、満天は決まったプログラムをご用意していません。お稽古や、やりたい事をご自身で**選択**し、過ごして頂いております。役割も担っていただくことによって、ご利用者様が**イキイキ**と輝ける場所の提供を目指しています。